

(■一日目)

(§)

(◇歩く音 フエードインして少し流し、ヒロインの台詞で停止)

あの〜、もしも〜し…

わわっ、そんなにびっくりしないでくださいよお…

まあ私の身体って透けてるし…あとちょっとぴり浮いちやつてるから…仕方ないよね…

えへへ、どうも幽霊です

わあ〜、待って待って、見なかつたふりしないでくださいよお〜

私のこと、見えてますよね？ …その反応、声も聞こえているみたいでし…

あ、今…目を逸らしましたね

…やっぱりあなた、私のこと見えてるんじゃないですかあ…つ  
…これ、とっても珍しいことなんですよ

つていうか、これが初めてだつたりするんですよね…

あなただけは、なんかこう、びびつときちやつて…  
もしかしたらつて、話しかけてみたんですけど…

あなたつて…私のこと、何か知りませんか？

…いえ、その、実はこうして幽霊になっちゃう前の記憶が…

つまり、生きていた時のこと、何も思い出せないんですね…  
なので、成仏できなくて彷徨つてる理由とかも、全然分からなくて…

私のこと見える人なら、何か知ってるんじやないかと思つて、声…掛けてみたんですけど…

…んー、そうですか

なら、たまたま靈感が強かつたとか、そういうことなんですかね…

…あの、本当に何も、心当たりとかありませんか？

離れ離れになつた可愛い妹とか。小学校の頃に結婚する約束をして、でも家の都合で転校し

ちやつた後輩ちやんとか…

……んー、一つも当てはまりませんか。困りましたねえ…  
いえ、あなたが困らなくとも、私は今、とってもピンチなんですよ  
せっかく、見える人に会えたのに…  
あ、良いことを思いつきました

……しばらく、あなたについて行っても良いですか?  
そうすれば何かわかるかも!

……ええー、良いじゃないですかあー  
ついて行くつていつても、別にとりついたりはしませんよ?  
あと、食費もかかりませんし、プライバシーだつてしまつかり守ります!  
ね? 良いでしょ? 人助けをすると思つて…あ、死んじやつてるから幽霊助けになるの  
かな…

……え、本当ですか? やっぱ今の無しつて言つても、もう遅いですよ  
…よし、そうと決まれば、さつそく帰りましょう

……どこつて、あなたの老家以外に行くところあるんですか?

ほら、こっちですよね?

……あれ、なんで私、家の方向分かるんでしようか…  
やつぱり、昔一緒に住んでいた妹だつたり…。はい、しませんよね

(◇外を歩く音 ループ)

あ、そーだ

……あついえ、さつきの話じやないんですけど…そう言えれば、あなたのこと、なんて呼べばいい  
いですか?

ずっと「あなた」つて呼ぶのも、変だと思うんですね…

ん〜〜〜名前で呼ぶのは、なんか違うような気が…

あ、ちょっと待つてください。今、びびつときました  
あなたのこと、「ご主人様」つて呼びます!

私は今から、ご主人様にお仕えする幽霊なのです!

…あはは、まあ浮いてるだけで何もできませんけどねえ  
まあまあ、細かいことはどうでも良いじやないですか…

そうですね、ご主人様は、私のこと、れいちゃんって呼んでください  
……いえ、名前を思い出したりはしていないんですけど…幽霊だから、靈ちゃんで良いかな  
あと

他には「幽ちゃん」っていうのもアリですけど、ほら…女の子っぽくないじゃないですか  
なので、これから私のことは、れいちゃんって呼んでくださいね

(◇外を歩く音 数秒ほど流して停止)

…あ、話してたらもう着きましたね

…はい、やっぱりどこか見覚えがあるような…ないような…

ご主人様って、私くらいのメイドを雇っていたことは…ないですよね

普通のお家ですし、というか私くらいの女の子を働かせていたら犯罪ですからね

まあ、とにかく入りましょう

(◇扉の開閉音)

お邪魔しま～す

おお～、けつこう広いお家ですね～

あれ？ でもなんか、天井低くないですか？

ちょっととこう、天井が近く感じるような…

あ、私が浮いてるせいですね。えへへー

ああ～ちょっとお、置いてかないでくださいよ～…

…ん？ くんくん…

何でしょ、とっても良い匂いがしますね♪

…ああ、そつか！ もう夜ご飯の時間ですもんね♪

ご主人様は、すぐご飯食べます？

なるほど…お風呂の後ですね

じゃあ、その間に、色々と見て回ってても良いですか？

ああ、その心配なら大丈夫ですよ

扉に触つたりはできませんけど、すり抜けることができるのです

そもそも開ける必要ないんですよねー。こう見えて幽霊なので。えへへ

というわけで、ちょっと見てきますね

：はい、ご主人様も、ゆっくりお風呂に入つてくださいね  
きっと、疲れてると思うので

では、また後で

（◇主人公の遠ざかる足音）

（§）

あ、ご主人様、もうご飯食べ終わつたんですか？

：はい、私の方は、ずっとお家の中を見てましたよ  
それにしても、けつこう広いんですね。疲れちゃいましたよー

え、そうですか？

私からすると、そこそこ広く感じましたけど…

あと、扉をすり抜ける度に、わりとエネルギー使っちゃうみたいで…  
三部屋くらい回る頃には、もうへとへとでしたよ

……あ、見覚えはですね：一部屋だけありました  
えっと、こっちです

（◇主人公が家中を歩く足音）

（◇扉を開ける音）

あ、ここってご主人様の部屋なんですか？

……はい、この部屋だけは、行つたことある気がします  
物には触れないでの、うろうろしてただけですけど…

特に、このベッドとか見覚えあるんですよね…

もしかしてご主人様、この部屋に女の子を連れ込んだり…  
まさか私、ご主人様に…

ああ～怒らないでください、冗談ですよお

：たゞ、このベッドに見覚えがあるのは、間違いないんですね  
まあ、明日も色々と見て回れば、何か分かるかもしません

：え？ もちろん明日もここにいますよ

ご主人様の近くにいれば、何か思い出しそうなので…  
…もしかして、ダメ…ですか？

やつた！ ありがとうございますっ、ご主人様♪

：じゃあ、明日も一緒にね。えへへ

(■二日目)

(§)

(◇毛布の擦れる音)

あ、ご主人様。ふふ、おはようございます♪  
朝早いんですね、お出かけですか？

…へえ、いつもこの時間に起きてるんですね  
ということは、今…暇だつたりします？

…でしたら、ご主人様の案内で、お家の中もう一度見てみたいなあつて…  
まあ、昨日少し回りましたけどお…

私だけだと文字が読めなかつたり、分からぬことも多いですし…  
いちいちすり抜けなくとも良いので、とつても助かるんですよね…  
だからご主人様、ちょっとだけ、私に付き合ってくれませんか？

…ね？ 良いでしょー？

…ふふ、ありがとうございます、ご主人様  
やつぱり優しいですね～。そういうところ、大好きです♪

…さて。それじゃあ、早速行きましょう

(◇毛布をどける音)

(◇扉の開閉音)

…まずは、そうですね…

うーん、まだ良く分からないので、一つずつ見て行つてもいいですか？

はい、ではこのおつきい部屋から…あ、リビングって言うんですね

…なるほど、ここでご飯を食べたり……あれ

なんかちょっと、ヘンですね…

家具の場所っていうか…。あのソファーやとか、もつと奥に寄せても良いような…  
んー、気のせいですかね…？

……あ、お母様がいますよ！

お母様へ、おはようございまーす

えへへ、そんなに慌てなくとも大丈夫ですよ

昨日、こつそり耳元で話しかけてみたんですけど…全く反応がなかつたので  
その辺は、抜かりないのでっつ

あー、ただお母様がいると、ご主人様話しづらいですよね？  
なら、他の部屋に行つてみましよう

こつちのちょっと狭いところは…あ、お風呂ですね？

うう…なんか私、ここ苦手ですう…

もしかして、お風呂でおぼれて死んじやつたとか…

さすがに、ないですかね…？

うーん、でもここ、ほんとに苦手ですかね…

早く別のところに行きましょ

さつきの、ご主人様の部屋とか。今度は、じっくり見てみたいんです  
…え？ 別に散らかしたりしませんよー。そもそもできないですし…

…ああ、ポルターガイスト…でしたつけ

あれつて、どうやつてるんですかね？

…あはは、ご主人様に訊いても分かるわけないですよね。私ですら分からぬのに…

うーん、謎は深まるばかりですね～…

…ふえ？

幽霊が幽霊のこと考えるのって…面白いですか？

…だつて、幽霊になつても分からぬことだらけですしへ…

あ、でも一つだけ気づいたんですけど…

意外と幽霊って、全部が怖いっていうわけでもないんですね

…ほら、たぶん幽霊って、まだやりたいことがあるから、ここに残っちゃつてるんですね？

もしそれが、誰かに何かを伝えたついとか、  
最後にあれやつておきたついとかだとしたら、

全然怖くないです。なんか応援したくならないですか？

まあ、私は幽霊なので、応援される立場なんですねけどね、えへへ♪  
だから、呪つてやる～つていう幽霊だけじやなくて、

かわいい幽霊とかもいるんじやないかって考えたら、ちょっと楽しくないですか？

この私みたいに♪えへへー

ちょっと、話すぎちやいましたね

それじゃ、ご主人様の部屋に行きましょうか

(◇数秒ほど間を空け、扉の開閉音)

さて、じっくり見ちゃいますよ♪

まずはご主人様が寝ている、このベッドです

…んー、絶対見覚えあるんですよね～…

どこでって…それが分かつたら苦労しませんよお…

このベッド、ご主人様以外の誰かが使うことってありましたか？

あ、やましい意味ではなくてですよ

…なるほど、ご主人様以外は使ってない…と  
んー、他には何か…

あれ…この写真は…

あ、ご主人様が写っていますねつ

ご家族の写真ですか？

わあ〜、皆さんいい顔してますね♪お父様とか決めポーズしますし…

…あ、この子、とっても可愛い…。何歳ですか？

へえ…まだ一歳なんですねえ。ふふ

あーあ、私もご主人様と、一緒に写真撮りたいなあ…

…だつて、今撮つても心霊写真になっちゃうじやないですかあ  
そもそも写り込むか分かりませんし…

ちょ、笑わないでくださいよお。幽霊ジョークするために写真見たんじやないですつてー  
むう…そんなに笑つてないで、ご主人様も探してくださいよお

…私だつて、何を探せば良いか分かりませんけど…

…え？無関係なわけないじやないですかあ

私とご主人様は、絶対、何か繋がってる気がしますつ

…根拠とかは、その…

ご主人様が、私のこと見えてるからですっ

あと、この部屋にも見覚えありますし…

今のところは、それくらいしかありませんけど…

とーにーかーくつ、私は今、ご主人様しか頼れる人がいないんですよ…

だから、もう少しだけ、ご主人様と一緒にいさせてください。

お願いしますよぉ…

…あ、えへへ

やつぱり、ご主人様は優しいですねえ

ありがとうございます♪

(■二日目)

(§)

(◇毛布の擦れる音)

あ、ご主人様。ふふ、おはようございま～す♪

あれ、びっくりしちゃいました？

…まあ、天井近くでふわふわ浮いてたら、さすがに驚いちゃいますよねえ  
ふふ。ご主人様のお顔、真っ青になつて…わつ、大丈夫ですかつ  
す、すぐにお母様を…！ あ…う、そう言えば、私じゃ無理でしたね…：

何か、他に方法は…？

え？ そんなこと言つたつて、落ち着いてなんかいられませんよ～！

…うう、もしかして、私が驚かしたせいで…？

あ、ただの風邪なんですか？

なら、良いんですけど…。今日はしつかり休んでくださいね

安静にしてなかつたら、どんどん悪くなつちやうかもしれませんし…

最悪、私みたいに死んじやうかも…

…まあ、それはないにしても、無理はいけませんよ

ご主人様が元気でいてくれないと、私も悲しくなつちやうので…

…そうだ、何かしてほしいこととか、ありませんか？

と言つても、私ができること、少ないんですけど…

…んー、例えばって言われても…あ、ふふ

あの～ご主人様あ、私と添い寝とか…どうですか？

…まー、すり抜けちやいますけど。こういうのは雰囲気ですって

ね？ こんな美少女が、添い寝してあげるつて言つてるんですよ～？

…や、鏡に映らないので、分からないんですけど…私って可愛いですよね  
ちょっと、答えてくださいよお…むう

私…可愛くないんですか？ 可愛くないから、ご主人様の側にいられると、迷惑…だつたり

…もお、そういうことは早く言つてくださいよお

…いえ、そんな投げやりな感じじゃなくて…もつと心を込めて…

…あ、えへへ…。もおつと「可愛い」つて言つてくれても良いですよー？

…ん、ああ…何でしよう、この気持ち

ご主人様に「可愛い」って言わると、胸がポカポカしてきます…  
…って、私ばかり気分良くなつても、意味ないですよね

ここからは、添い寝してしつかり看病しますので…

ふふ……近いですか？

逆に離れてたら、添い寝できませんよ

…ふふ、ご主人様♪ こっち、見てください♪

(◇毛布の擦れる音)

もー、すぐ目え逸らすんですからあ…

言つておきますけど、幽霊なのですいすい移動できちゃうんですよ?

だから、ご主人様が顔を背けようとしても♪

ほら、すぐこっちにきちゃいますからね

…えへへ。けつこう照れ屋さんなんですねえ。頬っぺた、赤くなつてますよ?

…なーんて、まだ青いままですけど。ふふ、からかっちゃつて、ごめんなさい

…その、こんな何気ないことでも、ご主人様と話すの、楽しくて…

ついつい、喋りすぎちゃいますね…

…ねえ、ご主人様

私、まだ生きていた頃の記憶、全然思い出せないんです

でも…何も思い出せなくとも、ご主人様と一緒にいる今が、とつても落ち着くっていうか…  
幸せ、なのかな…

…もしかしたら、生きていた時、ご主人様とふかあゝい関係…だつたりして  
…だつて、まだ出会つたばかりで、こんなに仲良くなれるんですよ…?

もちろん、何か理由があるわけじやなくて…。直感、なんですけど

でも、これだけは間違いないって、そう思うんですけど

えへへ…。二人とも憶えてないのに、変な話ですよね

…ただ、私もそうですが、ご主人様だつて…変なところ、あると思いますよ?

…だつて、いきなり知らない幽霊が現れて、「家までついてくるー」って言つたのを、許し  
ちやうんですよ

…あの時、もしご主人様が私を連れて行つてくれなかつたら、もうどうして良いか分からな  
くて…

ほんとに、困つてたと思ひます

…今のところ、私と会話できるのつて、ご主人様しかいませんし…

あの時、あの道を通つてくれなかつたら…

きっと、今でも私：彷徨つてると思うんです

幽靈としては、そっちの方が普通なんですけどね…

…でも、なんでここにいるのか分からなまま、ただ彷徨うだけなんて…嫌なんです  
ずっと、ずっと独りぼっちで…

どうしてここにいるんだろうって…

私は誰なんだろうって…

何も分からなまま、不安しかなくて…

そんな私を、ご主人様は、このお家に連れてきてくれました…

…つまり、その…

ご主人様も、私と同じようなものを、感じているんじやないかって…  
あとは…ありがとうございます

…いえ、もちろん不安になる時も、ありますよ  
けど、その気持ちは、ご主人様と出会う前の、何も分からないう不安とは、違いますよ

今、ここにある幸せが…ご主人様と一緒に毎日が、なくなつちやうことへの不安なんですね  
…私、自分のこと…何も分からなくとも。ご主人様と、ずっと一緒にいたいです  
幽靈でも…こんな身体でも、一緒に…なんて。ダメ…ですよね

…いえ、ご主人様が良くても、神様は…許してくれないと 思います

…幽靈は、ご主人様のそばに…こつち側にいや、いけないですから…

…ふふ。幽靈なのに、私って…怖がりですよね

でも、今不安に思つてることが、ちょっとびり嬉しくもあるんですね

…おかしいって、思いますか？

だつてこの不安は、今がすつごく楽しいからこそ、感じるものだと思うので…

だから、私のこと、心配しなくて良いですかね

…ふふ。ご主人様、ありがとうございます

私、ご主人様と一緒にいれて、本当に幸せです

…もう、どうしちゃつたんですか？

…私なら、まだいなくなつたりしませんよ

こうして、ご主人様の側にいます…

…他にも、側にいるだけじゃなくて。何かできれば良いんですけど…

あれ、ほつとしたら、眠くなつちゃいましたか？

ふふ、あつたかいなんて、変なこと言いますね

普通、ぞわぞわ～って、寒氣がするとかなら分かりますけど…

でも、そう言つてもらえて、すつごく嬉しいです♪

……私にも、ご主人様にしてあげられること、あつたんだなあつて…  
ふふ。じゃあ、ご主人様が眠るまで…それとも、起きるまで…?  
んー、満足するまで、ずっととここにいますね♪

なので、安心して寝ちゃつて良いですよ…

……ふふ。お休みなさい…ご主人様♪

……ん、すう…………すう…………すう…………すう…

すう…………すう…………すう…………すう…

すう…………すう…………すう…………すう…

……ご主人、様あ…………すう…………すう…………すう…

すう…………ん…………すう…………大好き…………です…………すう…………すう…………すう…

すう…………すう…………すう…………すう…………すう…………すう—――

(■四日目)

(§)

おっはようございま～す♪

…って、今日は朝早いんですね？

がつこう…？ つて、なんですか…？

：はあ、ご主人様は、がつこうで、べんきょうをしなくちゃいけないんですね…？  
うーん、よく分かりませんけど。私も、そのがつこうに行つてみて良いですか？

…大丈夫ですよ♪

私の姿は、ご主人様にしか見えていないんですから  
…ね、良いでしょ？ ご主人様が出かけちゃつたら、一人で退屈なんですよ

私、お留守番は嫌なんです。…したこと、ないと 思いますけど

一人ぼっちなのは、寂しいから…

え、本当ですか？

…やつたあ、さすがご主人様♪

じゃあ、早速行きましよう！

：はあ、ご主人様は着替える必要があるんでしたね  
ふふ、私に見られるの、恥ずかしいんですか？

別に良いじやないですかあ、着替えくらい

我なら、ご主人様に見られても良いですよ？

…もお、怒らないでくださいよお

冗談つてわけじやなかつたんですけど…まあ、恥ずかしいんだつたら、仕方ないですよね  
じやあ、部屋の外で待つてますから。着替え終わつたら、ちゃんと来てくださいよ？

(◇扉を開ける音)

…あ。扉…ありがとうございます  
さつき怒ったのは、照れ隠しだつたんですね。ふふ

(◇扉を閉める音)

(◇校内のチャイムの音)

(§)

わあ…これが学校…っ。その中の、教室ってところですね  
人が、たっくさんいます…！

それに、男の子は、ご主人様と同じ格好をしてますけど、どうしてですか?  
んー、決まりと言われても、いまいちピンときませんね…  
皆、好きな恰好をすれば良いのに…

…それにも、ご主人様が毎日行くところなら、何か手掛けりがあるんじゃないかなあつ  
て思つてたんですけど…  
見覚え、全然ないです…

(◇教室の戸の開閉音)

あ、誰か大きい人が入つて来ましたよ  
あの人は、皆さんと同じ服じゃないんですね

……え、『せんせー』…………ですか?  
……なるほど。朝言つてた、勉強っていうのを教えてくれる人ですね  
へえ…初めて見ました

(◇黒板にチョークで文字を書く音)

あれ、せんせーが、何かしてますね

(◇ノートに字を書く音)

…あ、ご主人様も、同じようなことを…  
これが、勉強…なんですか?

んー、『もじ』、と言われましても…

(◇教科書を捲る音)

うわ、同じような黒いものが、びっしりと…

これが、『きょうかしょ』…?

うーん、良く分からないです

ご主人様が、さつきから言つてる『かく』や『よむ』という言葉の意味も、頭に入つて来てなくて…

…もしかしたら、記憶と一緒に、ご主人様の言う『よみかき』っていうのも、忘れちゃってるのかもしれません…

(◇黒板にチョークで文字を書く音)

(◇ノートに字を書く音)

ふわあ…。学校って、退屈ですね…

たぶんここ、生きていた頃にも、行つたことないような気がしますし…

(◇ノートに字を書く音)

…あっ、ご主人様

さっきから、せんせーだけじゃなくて、あの女の子のことでもちらちら見てますけど…  
もしかして、好きな人だつたり、します?

(◇椅子から立ち上がる音)

つて、ご主人様!? 急に立ち上がつたりしたら…

…ああ、遅かったみたいですね…。周りからの視線が、痛い…

(◇椅子に座る音)

…いやあ、その。まさか、あんなに動搖するとは思わなくて…

…というかご主人様、私という女の子がいながら、他の子にああいう目を向けるのはちょっと…

…

…モヤモヤ、しちゃいます

…あれ、本気にしちゃいましたか?

ふふ、意外と可愛いところありますよねえ、ご主人様つて

……ほーら、手が止まつてますよ？ ふふ

(◇ノートに字を書く音 数秒ほど流してフェードアウト)

(§)

(◇外を歩く主人公の足音 フェードインしてループ)

ふう…。学校つて、あんなにずっといなきやいけないんですねえ…

ご主人様も、お疲れさまでした

あの…体育？ でしたっけ

それで、すごく頑張つてましたもんね

もちろん、ちゃんと見てましたよ

サッカーボールを、えいってキックしてましたよねー

頑張つてるご主人様の姿、とってもかっこ良かつたですっ

…ふふ、ほんとですって

…いえ、教室でのアレは、ちょっとからかつただけで…

(◇足音 ここまで)

ところで…ご主人様は、好きな人…いないんですか？

ほら、斜め前に座つてた女の子、授業中にちらちら見てたから…そうなのかなあつて  
んー、ちょっと気になるだけ、なんですか？ なんか曖昧ですね…

……じゃあ、例えば…ですけど

私が、好きですって告白したら…。ご主人様は、付き合つてくれますか…？

ふふっ、ご主人様あ、顔真っ赤ですよ♪  
もしかして、本気にしちゃいました？

……だつて私、幽霊なんですから。ご主人様と付き合うことなんて、できませんよ？

……ただ、そうですね

ご主人様と一緒にいると、毎日が楽しくて…。あつたかい気持ちになります

それは、本当ですよ

だから、生きていた頃の私は、ご主人様のことが大好きで…付き合いたいって、思つてたのかもしません…

…まあ、ご主人様はきっと人気あると思うので、どの道、私が付き合うのは難しいんじやないかなあって…

…え、そう…ですか？

ご主人様なら、絶対モテモテのような…いえっ、今度はからかってませんよ  
そういうご主人様こそ、この子からモテてるとか、モテたことがあつたとか、心当たり…あるんじゃないですか

…えー、ほんとですか？

例えば、私…とか

…うう。憶えてないんですね…

…おかしいなあ。生きてた頃の私、何やつてたんだろ…  
陰から見てるだけで、全然行動しなかつたとか…？ …はあ

まあ、考へても仕方ないですよね…

ご主人様が憶えてないなら、私が思い出すしかないわけですし…  
とにかく、帰りましよう。今日は疲れちゃいました

(◇主人公の歩く音 数秒ほど流してフェードアウト)

(◇玄関の扉の開閉音)

(◇主人公の廊下を進む足音)

ふう、やっぱり家の中は落ち着きますね〜

(◇ソファに寝る音)

あ、ご主人様？ 寝るなら自分の部屋に行きましょうよー

ここ、リビングですよ。ソファで寝たら、きっと身体が痛くなっちゃうんじや…：

…あれ、ご主人様？

…もしもーし

ありや…もう寝ちゃつてる

まあ、あれだけ身体動かしてたら、疲れちゃいますよね…

……んー、何しようかなー。一人で探索するとけつこう疲れちゃうし…このまま、ご主人様の寝顔を見てるっていうのも、アリかな。ふふ

…それか、このリビングを探したり…。でも、ここって何もないんだよなあ  
他に気になることって言つたら…ご主人様が寝てる、このソファ…  
前にも思つたけど、どうして…もつと奥の方に置かないんだろう  
そのせいで、ヘンな隙間ができるのに…

(◇鈴の音)

——わ、急なんですかつ  
ご主人様の悪戯…じやないですね。ぐっすり寝て いますし…  
：ああ、お母さまの足に当たつて、転がってきたんですね  
これは…ちっちやなボールかな。きっと、中に鈴が入ってるから、あの音が…

(◇鈴の音)

あ…ああ、何…これ。頭が、割れるように…痛つ  
ご主人様、眠つてないで、んつ、助け…て…つ  
…あれ、どうして…そんなこと…うつ

あ…ああ、何…これ。頭が、割れるように…痛つ  
ご主人様、眠つてないで、んつ、助け…て…つ

(◇遠くから鈴の音)

…あ、あああ…つ  
…つ、あああ…つ、そう…だつ  
私、いつも…あのボールで、オモチャで…遊んで…—  
う、あ…ああ…そつか…そう、だつたんだ…  
…ご主人様…。私、思い出しました…  
自分が、誰だつたのか。ご主人様と、どういう関係だつたのか…  
全部、…ぜーんぶつ  
…ああ、どう…しよう

私……もう、消えちゃうのかも……しれません

……ああ、ご主人、様……

……大好き、ですよ……

(■五日目)

(§)

(◇ベッドの上で身を起こす音)

あ、ご主人様。おはようございます

…その、起きたばかりで、まだ眠たいと思うんですけど…  
少し、朝の散歩に行きませんか？

…実は、ご主人様に…伝えたいことができたんです  
一緒に歩きながら、お話を聞いてくれませんか？

ふふ、ありがとうございます

では、行きましょう

(◇主人公の外を歩く音 フェードインしてループ)

…ご主人様、この道のこと…分かりますか？

…はい、確かに通ったことはあると思いますよ

ご主人様はこの町で、ずっと暮らしてきましたから

…私が言いたいのは、道順…ですかね

ここを真っ直ぐ歩いて、分かれ道のところを右に曲がると…小さな公園が見えてきます  
その先には川が流れています、でも…まずはこの公園に寄るんですよね

(◇足音 ここまで)

…ご主人様。私が何を言いたいのか、もう分かつてきましたんじゃないですか？

…ふふ。少しもつたいぶつちやいましたね

実は私、自分が誰なのか…なんで成仏できなかつたのか、昨日…全部思い出したんですけど…  
えへへ…急で、びっくりしましたよね

…はい、勘違いなんかじやありませんよ

だって、ここ…。毎朝、ご主人様と一緒に、散歩してましたよね

途中でこの公園に寄って、キヤツチボールで遊んで…

…懐かしいですよね

ご主人様だけじゃなくて、家族の方もすつごく優しくしてくれて…  
ほら、数日前に見せてくれた写真、ありましたよね

あの中に写ってる私、とっても幸せそうに笑ってました

…はい、そうです

私の本当の名前は…れいちゃんじやなくて、『ボチ』って言うんです  
ご主人様が名付けてくれた、大切な私の名前…

…信じられませんか？ 私が、ご主人様の飼い犬の、ボチだつてこと

…まあ、それは…そうですよね

自分の銅つてたペットが、幽霊として…

しかも、人間の姿で現れるなんて…

んー、どうしたら信じてもらえるかな…

ご主人様にしてもらったことを、一個ずつ挙げていくとか…

えっと…キャツチボールのことは言つたから…

遊んだ後のこと…汚れちゃった時は、お風呂に入つて、洗つてもらつたりしましたよね  
まあ、正直お風呂は苦手だつたんですけど…

その後は優しくブラシをしてくれて…ご褒美のボーロをくれたり

あとは、夜になつたら、一緒のベッドでくつ付いて寝ましたよね…

…あれ、ご主人様、泣いちやつてますか？

…ダメですよ。まだ…話したいこと、たくさんあるんですから…

最期まで、聞いてくれますか？

では…まず、成仏できなかつた理由について…

…それは。ご主人様と、お話したかつたから…なんですよ

いっぱい話して、自分の言葉で「ありがとう」つて伝えたかつたんです

…だって、動物は…人間の話してることは分かつても、同じ言葉で喋れませんから…  
ご主人様が、家族の方と話しているのを見て、私、すごお～くうらやましかつたんですよ  
でも、私は吠えることしかできなくて…結構、寂しかつたんですよ？

…神様もいじわるですよね…？

どうせ人間の姿にしてくれるんだつたら、なんかすごい力とかで、普通の人間にしてくれれば良かつたのに…

でも、ご主人様と話せるようにしてくれただけで、神様には感謝です♪

まあ、所々分からぬ言葉もありましたけど…

…ご主人様。私が、こうやつてここにいられるのは…きっと今日が最期なんです

その証拠に、ほら…。今までより、少し体が薄くなつてきますよね  
…だつてもう、心残りだつたこと、ぜんぶ…叶えちゃつてますから  
だから、今のうちに伝えておきたいこと、いっぱい話します

覚悟してくださいね?

…えっと、まずは…

私、ご主人様と一緒にいられて、ご主人様の家族になれて、本当に嬉しかつたです!  
捨て犬だつた私を連れ帰つて、そのまま家族に迎え入れてくれて…  
今回も同じでしたよね

幽霊になつて、彷徨つてる私を家に連れ帰つてくれて…

前も、今も。ご主人様のお家に来てからは、本当にたくさん思い出をいたきました  
感謝しきれないくらい…たくさん

…ご主人様。私のこと、二回も迎え入れてくれて、ありがとうございました  
ずっと、ずっと一緒にいてくれて、  
いっぱい、いっぱい…ありがとうございましたつ

…えへへ…良かつた…。ご主人様に、直接伝えられて…

ああ…、ご主人様、涙…出ちやつてますよ…

もう…しようがないですね…

ご主人様が泣いちやつたら…

私まで…泣けてきちゃうじやないですかあ…つ

うう…ぐすつ、ひぐつ…うううう、うあああ…

ご主人様あ…ぐすつ、せつかく泣かないつて、決めてたのにい…

ぐすつ…ぐすつ…

ご主人様には、私を泣かせた罰を与えますつ

私が消えちゃうまで、ずっと、ぎゅうつしてください!

…触れなくても、関係ないんです

そんなこと、どうだつていいんです

だから、私のこと…。あの時みたいに、ぎゅつて…

――あ、あ…ご主人様あ…

…あつたかい、です…

触れないのに…。確かに、ぬくい…です

生きていた頃は、毎日こうして、一緒に寝てたから…つ

ああ…私、本当に幸せでした…

最期も、ご主人様の…あつたかい腕の中で…なんて…つ

うう…ぐすつ

ご主人様、私…もう、大丈夫です

ご主人様から、幸せをいっぱい分けてもらつたので…：

…だから、今度は、ご主人様の番ですよ？

これからも、いっぱい、いっぱい…幸せになつてください  
私、ずっと見てますからね？ 絶対ですよっ

…はい、ありがとうございます

…ご主人様

ずっと、ずっと、大好きですっ

(◇少し間を置き、鈴の音)

(■六 天国)

(§)

う…ここは…?

もしかして…天国?

そつか…私、成仏できたんだ…

…あれ?

でも、なんでまだ、人間の姿で…

——うわあつ、誰つ

…も、もしかして、神様…ですかつ

……じゃあ、やっぱりここって、天国…なんですね…

じやあ、この姿も…言葉も、全部…神様が…

あの、私、あなたに言いたいことがあるんです

神様、ご主人様に会わせててくれて、お話できるように言葉を教えてくれて、本当にありがとうございます

うございます!

私、神様のおかげで、やり残したこと、いっぱいいっぱいできました!

すっごく嬉しかったです!

…ただ、ちょっと恨んでることもあるんですよ?

だって私の記憶、綺麗さっぱり消しちゃうんですけど…

最初から憶えていたら、あんなに苦労しなくて済んだのに…

そういうこと、できないんですか?

幽靈になつて、また大好きな人に会えるのは嬉しいんですけど…

記憶がないんじや、私以外にも、独りぼっちの幽靈とか、いっぱいいると思うんですけど…

それに、成仏できなくて、怖がられてる幽靈も…

だから、できるなら、ちゃんと記憶もそのままにして、大好きな人のところへ行けるようにしてくださいつ

私、幽靈になつてみて分かりました

幽靈つて、怖いものばかりじゃないんだつて

実は私みたいに、なんで幽靈になつたのかわからない、すごく寂しい思いをしている子もいる

つぱいいるんじやないかつて…

だから…もう私ができることは何もないんですけど、その代わりに神様がなんとかしてあげてくださいつ

約束、ですよ…つ

……ふう…。ちょっと、熱くなっちゃいましたね…

…はい。やり残したことは、もうないと思います

…いえ、本当にそうかと訊かれたら、嘘になっちゃうかもしれません  
ご主人様の側にいたら、やりたいこと、いっぱい出てきちゃいますから

…でも、あの時やりたかったことは、全部済ませてきたつもりです  
なので、やり残しはまだあるのかも知れませんけど、心残りは…全くありませんっ

…ふふ、本当ですよ？

私だけじゃなくて、ご主人様も、もう大丈夫ですっ

…だって、私が見てるのに、いつまでも泣きじやくつてるような、そんなご主人様じやない  
んです

…はい、信じていますよ

私の大好きな人は、優しくてかつこ良くて…：

笑顔の似合う、素敵な人なんです

…だから、ご主人様

これからも、あなたが幸せでいるところ、私にたくさん見せてくださいね？  
この空の上から、ずっと、ずっと見守っているので…

…約束、ですよ？ ふふ

(END)